

## 多彩なエンドエフェクタと ロボット周辺機器で人手不足を解消

# CKD

電気でつかむ	エアでつかむ	真空で吸着する	ロボットを使いやすく
電動2爪 グリップ FLSH  電動3爪 グリップ GCKW  電動2爪 グリップ FFLD	高耐久機器 HPシリーズ 3方爪チャック CKW-HP1  パルスブロー バルブ BNP  測長機能付 リニアスライドハンド LSHM-HP2	精密吸着 プレート PVP  ファインパッパ FBU2  3D吸着ハンド FSH	ロボットロータリ RJAC  オートツール チェンジャー KHBC  クイックアジャスタslim QREC

CKD株式会社 <https://www.ckd.co.jp>  
 本社 工場 〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250  
 TEL (0568)77-1111 FAX (0568)77-1123

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026

ホールE E27

# あす開幕

## ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026

会期: 2026.6.11(木) — 6.13(土)

会場 Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)



# 自動化の最新技術、愛知に集結

## 過去最大規模で開催

産業用ロボットと自動化システムの専門展「ロボットテクノロジージャパン(RTJ)2026」が、6月11日から13日までの3日間、愛知県国際展示場(愛知県豊田市)で開催される。人手不足が深刻な社会課題となる中、過去最大規模での開催となる「好奇心」をテーマに、ヒューマンイードロボットやAI(人工知能)を搭載したシステムなど産業用途で新たな開発・導入が期待される技術が披露される。また、ロボットシステムインテグレーター(Sier)や工作機械メーカーからも多数出展し、独自の技術を持ち寄る。主催は「ニュースタイシエント社(名古屋千種区、八角秀社長)で、愛知県機械工具商業協同組合(同熱田区、水谷隆彦理事長)との共催。

ロボットテクノロジーJAPAN(RTJ)は、中部地域最大の産業用ロボットと自動化システムの専門展示会。2022年に初開催し、今回で3回目となる。あらゆる産業で人手不足が課題となる中、製造業の集積地である愛知県で開催される同展の注目度は高く、今回は過去最大規模の272社・団体が1378小間に出展する。

24年に開催した前回展では、3日間で4万6405人が来場した。ニュースタイシエント社の八角秀社長は「人手不足は製造業の持続的な課題。中部地域で最新技術に触れる

人の来場を目指す。同展の最大の特徴は、出展企業が製造現場や物流拠点の省人化、自動化を実現するロボットやシステムに限定される点だ。大手ロボットメーカーはもちろん、ロボットハンドやセンサーなどの周辺機器、無人搬送車(AGV)や自律走行搬送ロボット(AMR)、計測システムなどの企業も出展する。特に今回はヒューマンイードロボットが初登場する。従来サービス分野での開発が盛んだったが、人間と設備を共有できるため産業用途でも活用の期待が高まっているのを受け、出品が可能となった。

主催者アンケートによると、今回は国内外の企業から385点の新製品が出品され、うち300点は同展が初公開となる。中でもAI(人工知能)を活用した技術や製品を出品するという回答が目立ったという。

## Sierが現場での活用を示す

生産設備の自動化に近いうちロボットや自動化欠かせないシステム。設備の使い方を展示するインテグレーター(Sier)の見込み。これから自己の発展も目指す来場者への91社・団体(前回65社・団体)とつとめ、いい検討材社・団体)となった。料となりそうだ。

「Sierゾーン」に設けた「Sierゾーン」での取り組みの実例が分は、各社がより実践的なる併催イベントを会場で製造現場での用途に場内の特設ステージで

午後からは日本ロボットシステムインテグレータ協会(Sier協会)が会員企業による事例紹介を実施する。「ロボットに命を吹き込む仕事」ロボットシステムインテグレータの紹介と題し、全国から10社が登場し、自社の取り組みを解説する。イベント後には名刺交換会も予定する。定員は300人で、同協会の公式サイトから事前の聴講予約が可能。

Sierは産業や工程によって得意分野がさまざまである。自社に最適な自動化について考える機会となるだろう。



次世代ロボットシステム

## ARMROID

- ロボットの専門知識が不要
- 人の作業をロボットが代行
- 機外にロボット設置不要

動画はこちら

# 働き方を変える、頼れるアーム



移動式協働ロボット

## OMR series

- 手軽に加工機を自動化
- 特別な操作トレーニング不要
- 機内への良好なアクセス

動画はこちら

## ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026

展示ホール D03

出品機種

複合加工機+ビルトインロボット

### MULTUS B250II ARMROID

CNC円筒研削盤 + 移動式協働ロボット

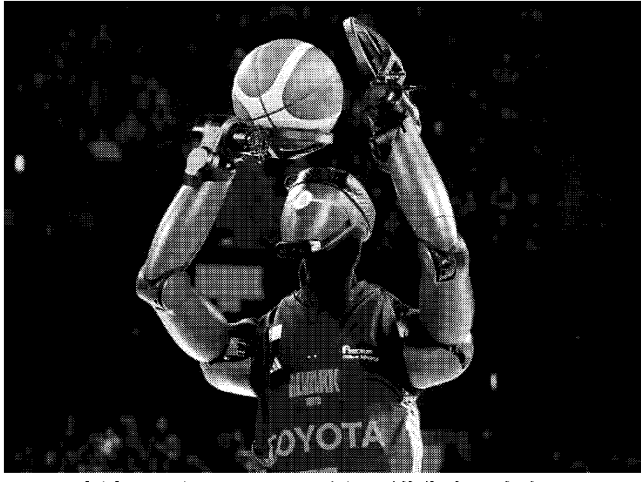
### GP26W + OMR20

※写真はGA26Wです。

**VR体験実施!**

機械配置シミュレーションをVRで体験していただけます

# 実感できる企画多彩



実演ではヒューマノイドの進化を見られる

RTJでは毎回、来場者が実際に産業用ロボットや最新技術に触れることで、理解を深め、精度や使いやすさなどを感得していただく。フリースローの美演スパーを体験できるブースを設置した。さき、4月にプロバスケツトボールチーム「バルク東京」のホームゲームで初公開し、同



前回はロボットによる書道の実演もされた

中部地域Sier連携会、日本ロボットシステムインテグレーション(Sier)協会の協力を得て、Sierが得意技術を生かした六つの体験コーナーを運営する。三井物産(静岡市清水区、久保田和雄社長)のブースでは、自社開発した実習支援システム「デジタルトレー

ナリー」の体験が可能。Sierの体験コーナーでは、ロボットが書道を実演する。

近藤製作所(愛知県蒲郡市、近藤茂充社長)は、参加者と産業用ロボットの体験を兼ねて、最新の技術に触れる機会としても活用される。



生成AI x ロボット 言葉で操作

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026 | 会期: 2026年6月11日(木)~6月13日(土) | 会場: Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場) | 当社ブース: Aichi Sky Expo Fホール / F49

RTJでは毎回、来場者が実際に産業用ロボットや最新技術に触れることで、理解を深め、精度や使いやすさなどを感得していただく。フリースローの美演スパーを体験できるブースを設置した。さき、4月にプロバスケツトボールチーム「バルク東京」のホームゲームで初公開し、同

中部地域Sier連携会、日本ロボットシステムインテグレーション(Sier)協会の協力を得て、Sierが得意技術を生かした六つの体験コーナーを運営する。三井物産(静岡市清水区、久保田和雄社長)のブースでは、自社開発した実習支援システム「デジタルトレー

近藤製作所(愛知県蒲郡市、近藤茂充社長)は、参加者と産業用ロボットの体験を兼ねて、最新の技術に触れる機会としても活用される。

近藤製作所(愛知県蒲郡市、近藤茂充社長)は、参加者と産業用ロボットの体験を兼ねて、最新の技術に触れる機会としても活用される。



わずか11kgの軽さで簡単持ち運び

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026 | 会期: 2026年6月11日(木)~6月13日(土) | 会場: Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場) | 当社ブース: Aichi Sky Expo Fホール / F49

## 主催者企画で性能体験 ヒューマノイドも登場

RTJでは毎回、来場者が実際に産業用ロボットや最新技術に触れることで、理解を深め、精度や使いやすさなどを感得していただく。フリースローの美演スパーを体験できるブースを設置した。さき、4月にプロバスケツトボールチーム「バルク東京」のホームゲームで初公開し、同

中部地域Sier連携会、日本ロボットシステムインテグレーション(Sier)協会の協力を得て、Sierが得意技術を生かした六つの体験コーナーを運営する。三井物産(静岡市清水区、久保田和雄社長)のブースでは、自社開発した実習支援システム「デジタルトレー

近藤製作所(愛知県蒲郡市、近藤茂充社長)は、参加者と産業用ロボットの体験を兼ねて、最新の技術に触れる機会としても活用される。



1秒でも速く、1打点でも多く、新型R-2000登場

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026 | 会期: 2026年6月11日(木)~6月13日(土) | 会場: Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場) | 当社ブース: Aichi Sky Expo Fホール / F49

今回のロボットテクノロジージャパン(RTJ)は、主催のニュースダイジェスト社の八角秀社長が就任してから初開催となる。同社の産業用ロボット専門ウェブマガジン「ロボットダイジェスト」の編集長も務める八角社長に同展で注目すべき技術に加え、AI(人工知能)時代の到来した産業用ロボットと自動化技術について聞いた。また、主催者企画やセミナーなど、同展の見どころを紹介する。

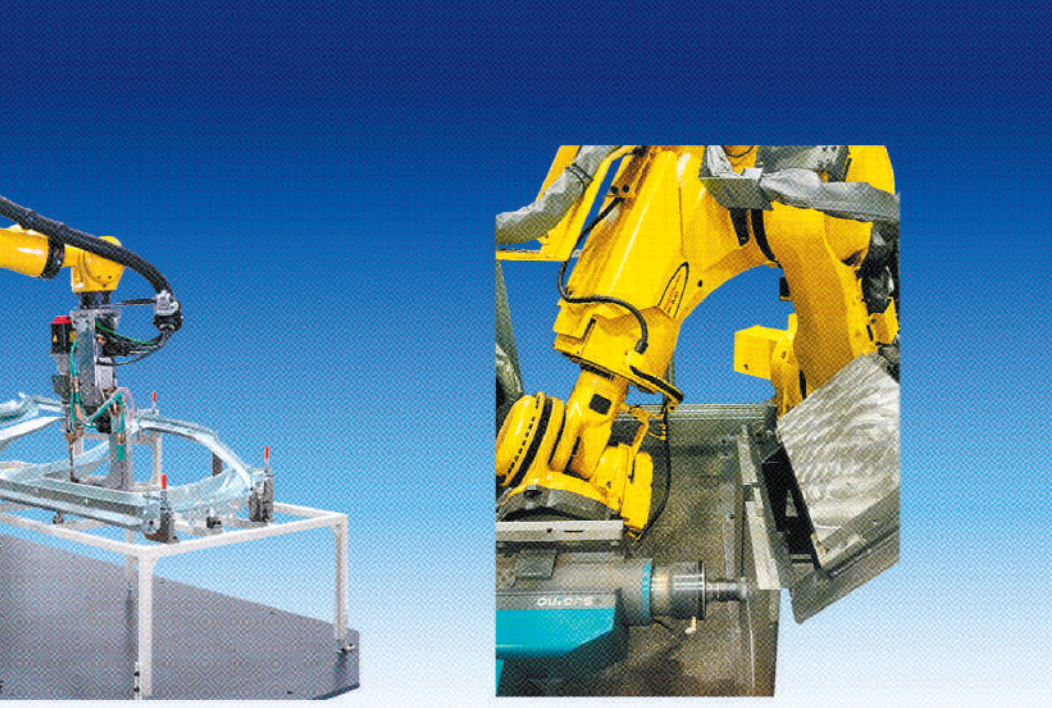
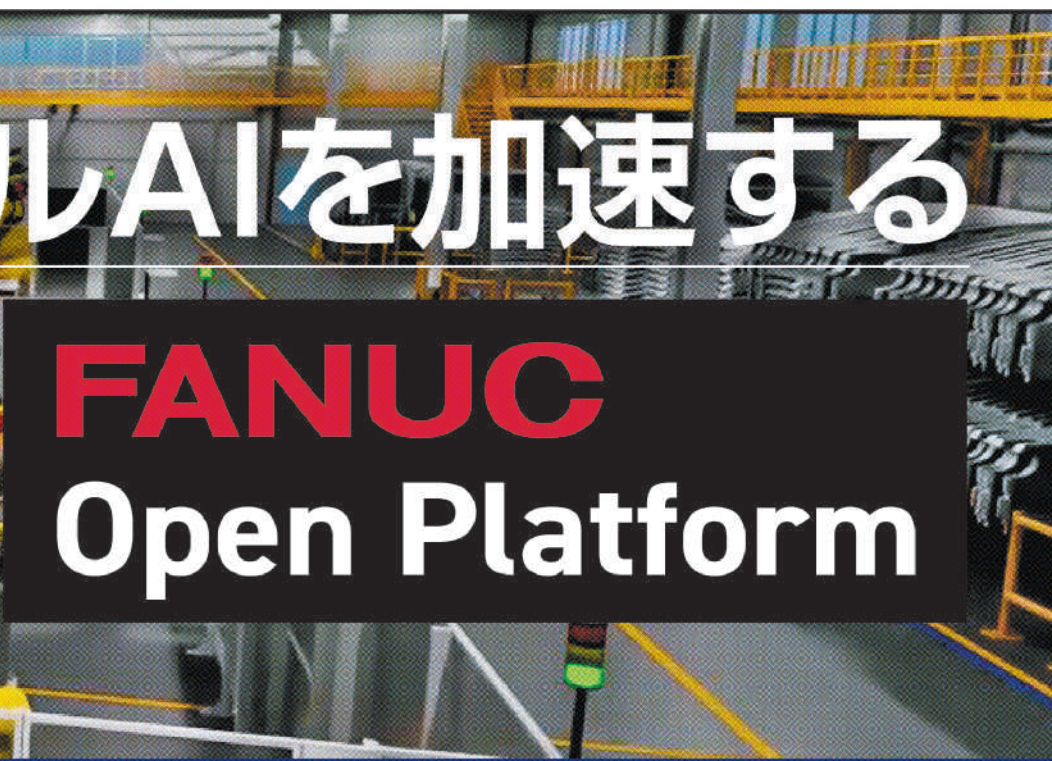
## AIで進化加速、未来志向でトレンド押さえる



「就任後初めてのRTJの特性上、製造業向け抱える社会課題、会場も多くなり、その場で話せるのが利点だ。2年前までは課題に対する最新の回答が見られなかった。RTJが地域の財産として定着してきた。一方、省人化される。中部地域対応はあらゆる産業の来場者が注目すべき点だ。ロボットは、設計開発やメーカーを広げるきっかけになる。今回はヒューマノイドロボットも登場し、型提案に。工場は人工的な環境のため、ロボットが活躍できる。実装が難しいから、現場でも可能性は高い。課題も多く、すぐに普及はしない。シエラは、中国など規模の大きい国が推し進められている。技術進化は加速する。注視が必要技術だ」

## 地域の財産として定着

「AIとの連携も期待されています。AIの発展は業界に待たれます。この半年でAIの活用は飛躍的に進んで、生成AIだけでなく、深層学習(ディープラーニング)などの実装も進んでいます。大規模・高精度なシミュレーション技術が進化してきた。IT業界のロボットや機械設備は、Sierの仕事に興味を持ち始めています。製造業では、将来的にロボット関連技術が統合されたシステムの進化は加速している。再発のRTJがAIの重要な担い手に。どうなるのか、私も予想はできません。未来の進歩は、活用が進むのは、物流分野。最新のAIも、会場でのトレンドとして注目し、押さえてほしい」



本格加工ロボットでフライス加工

FANUC | ファナック株式会社 | 本社 〒401-0597 山梨県南都留郡忍野村忍草3580 | TEL.0555(84)5555(代) | www.fanuc.co.jp

# 自動化システムの現在地

## トップ企業から講師陣 基調講演やセミナーなど

このほか、主催者に「人手不足の課題解決」をテーマにした講演や、ユーザーの視点から見た自動化への取り組みも盛り込まれる。展示ホールDのメインステージにて、毎日テーマに沿った催しが開かれる。

開催初日の11日は「ロボット化・自動化が当たり前の時代に」をテーマにした基調講演を実施する。ロボットが活躍できる範囲が広がり、メーカーやユーザーだけでなくユーザーが自らロボット化に取り組む事例も増えている。こうした状況を背景に、RTJの基調講演ではロボットの基礎知識や、物流ロボット、自動化ソリューション、ロボットと人間の協働、ロボットとAIの活用など、最新の取り組みが紹介される。

「人手不足の課題解決に向けた自動化への取り組みとオープンプラットフォームによるフィジカルAIの加速」

講演1 時間 13:00~14:00  
登壇者:ファナック 常務執行役員 ロボット研究開発統括本部長 兼ロボット機構研究開発本部長 兼ロボットアプリケーション技術本部長 安部 健一郎氏

講演2 時間 14:15~15:15  
登壇者:ダイフク ビジネスイノベーション本部 副本部長 浮須 賢一氏

講演3 時間 15:30~16:30  
登壇者:ボーイングジャパン ボーイング・テクノロジー・イノベーション・ジャパン ロボティクス&オートメーション・プロダクション・システム・エンジニア 松尾 大介氏

「完全自動化ソリューションと課題」

講演4 時間 10:30~12:30  
登壇者:愛知県 産業技術振興センター 未来創造センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

講演5 時間 11:30~12:15  
登壇者:カワダロボティクス 取締役会長 川田 忠裕氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演6 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演7 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

講演8 時間 11:30~12:15  
登壇者:カワダロボティクス 取締役会長 川田 忠裕氏

「人と一緒に働くヒト型ロボットの開発と展望 ~なぜカワダはヒト型ロボットをつくり続けるのか?~」

講演9 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演10 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演11 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演12 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演13 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演14 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演15 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演16 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演17 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演18 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演19 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演20 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国内ヒト型ロボットの最先端集う」

講演21 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演22 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演23 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演24 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演25 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演26 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国内ヒト型ロボットの最先端集う」

講演27 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演28 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演29 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演30 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演31 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演32 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会



自動化を推進する業界団体のステージイベントも見どころ

「国内ヒト型ロボットの最先端集う」

講演33 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演34 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演35 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演36 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演37 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏



トップ企業の最新の取り組みが披露され、満員となるセミナーも多い

「国内ヒト型ロボットの最先端集う」

講演38 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演39 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演40 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演41 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演42 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演43 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演44 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「国内ヒト型ロボットの最先端集う」

講演45 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演46 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演47 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演48 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演49 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演50 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国内ヒト型ロボットの最先端集う」

講演51 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演52 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演53 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演54 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演55 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演56 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会



人と協働する人型ロボ「ネクステージ」

「国内ヒト型ロボットの最先端集う」

講演57 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演58 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演59 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演60 時間 13:30~16:30  
登壇者:日本ロボットシステムインテグレーション協会

「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

講演61 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

### セミナー概要

#### 6/11(木)

##### 基調講演「ロボット化・自動化が当たり前の時代に」

講演1 時間 13:00~14:00  
登壇者:ファナック 常務執行役員 ロボット研究開発統括本部長 兼ロボット機構研究開発本部長 兼ロボットアプリケーション技術本部長 安部 健一郎氏

##### 「人手不足の課題解決に向けた自動化への取り組みとオープンプラットフォームによるフィジカルAIの加速」

講演2 時間 14:15~15:15  
登壇者:ダイフク ビジネスイノベーション本部 副本部長 浮須 賢一氏

##### 「完全自動化ソリューションと課題」

講演3 時間 15:30~16:30  
登壇者:ボーイングジャパン ボーイング・テクノロジー・イノベーション・ジャパン ロボティクス&オートメーション・プロダクション・システム・エンジニア 松尾 大介氏

##### 「技術革新と生産現場での成熟度向上-安全性と成立性の両立」

#### 6/12(金)

##### ①ロボット活用スタートガイド ~事例で学ぶ導入のコツ~

時間 10:30~12:30  
主催:愛知県

##### ②ロボットに命を吹き込む仕事 ~ロボットシステムインテグレータの紹介

時間 13:30~16:30  
主催:日本ロボットシステムインテグレータ協会

#### 6/13(土)

##### 特別セミナー 「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

特別セミナー① 時間 10:30~11:15  
登壇者:トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域 リサーチリーダー 野見 知弘氏

##### 「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

特別セミナー② 時間 11:30~12:15  
登壇者:カワダロボティクス 取締役会長 川田 忠裕氏

##### 「人と一緒に働くヒト型ロボットの開発と展望 ~なぜカワダはヒト型ロボットをつくり続けるのか?~」

各社の出展製品や技術について、開発者や担当者などから直接解説を受けられる機会となる。

ロボットバリ取りテーブル レーザー溶接テーブル 高精度検査テーブル

かつてないフラット&高トルク構造!  
設計も現場も納得の精密クオリティ。

サーボ用位置決めテーブル

DMX INSIDE

減速機 DSR

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026 小間番号 E97

〒439-0031 静岡県菊川市加茂4890-1  
TEL 0537-26-9781 FAX 0537-26-9780  
URL http://www.techno-dynamics.co.jp

TDI テクノダイナミクス株式会社

THK

最先端の自動化  
期待を超える 革新への「動き」

私たち THK は機械の直線運動の卓越性を独自の技術により実現し、「直線運動案内」として世界で初めて製品化。いつの時代も、蓄積したノウハウで最先端の自動化に貢献してきました。これからは幅広い製品とサービスで生産現場の可能性を広げます。

動剛性測定 DYNAS

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN に出席いたします

会場 Aichi Sky Expo  
小間番号 ホールD D15

THK株式会社 マーケティング PR 統括部 TEL 03-5730-3845 www.thk.com THK ロボットソリューション

turnMASTER 優れた切削能力と耐久性を兼ね備えたターニングセンタ向け高剛性主軸

turretMASTER マシニングセンタに匹敵するミーリング能力を有する刃物台

5年間保証

ERGoline X シンプルで使いやすいデザインで、ムリなく、ムタなく、ストレスない操作性を実現したヒューマンマシンインタフェース

DMG MORIでは、日本国内で販売する機械本体の修理・保守サービスの2年間保証に加えDMG MORI製の圧倒的な品質と信頼性を誇るturnMASTER、turretMASTER、ERGoline Xの5年間保証の提供を開始いたします。

DMG森精機株式会社  
グローバル本社 : 東京都江東区潮見2丁目3-23  
第二本社・奈良商品開発センター: 奈良県奈良市三条本町2-1

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026 展示ホールE: E03

DMG MORI





# 機械加工

全13巻・テキスト1冊付  
各 ¥30,800 (税込)

第1巻	金属切削の基本
第2巻	切削工具材料
第3巻	旋盤作業Ⅰ
第4巻	旋盤作業Ⅱ
第5巻	フライス盤作業Ⅰ
第6巻	フライス盤作業Ⅱ
第7巻	ボール盤作業
第8巻	シグ・取付具
第9巻	研削砥石
第10巻	研削盤作業Ⅰ
第11巻	研削盤作業Ⅱ
第12巻	工具研削
第13巻	機械加工の精度と測定

お問合せ・ご注文はこちらから  
日刊工業新聞社 映像グループ  
TEL: 03-5644-7226 (平日10~17時) FAX: 03-5644-7228  
e-mail video@nikkan.tech

## ロック機構でスマート管理

### DX化を実現! 特許取得済

# スマスBOX tool

ミスを防ぎ、業務効率を改善

解錠されたボックスが青く光ってお知らせ

鍵の管理、見えますよ

カギ・カードの貸出返却管理ボックス

# スマスBOX key

小間番号 D66

〒460-0025 名古屋市中区古瀬町18番9号 TSUNOKYU名古屋ビル8F  
Tel. 052-322-6621 Fax. 052-322-6629 https://twoone.co.jp/contact

## 協働ロボット用

# タッチパネル付電動グリッパー

- 操作パネル付き
- 軽量樹脂ボディ
- カスタムオーダー可

電動グリッパーにタッチパネル!?

小間番号: F26 ARMA ROBOT Endeffector

# ロボット動作の自動生成

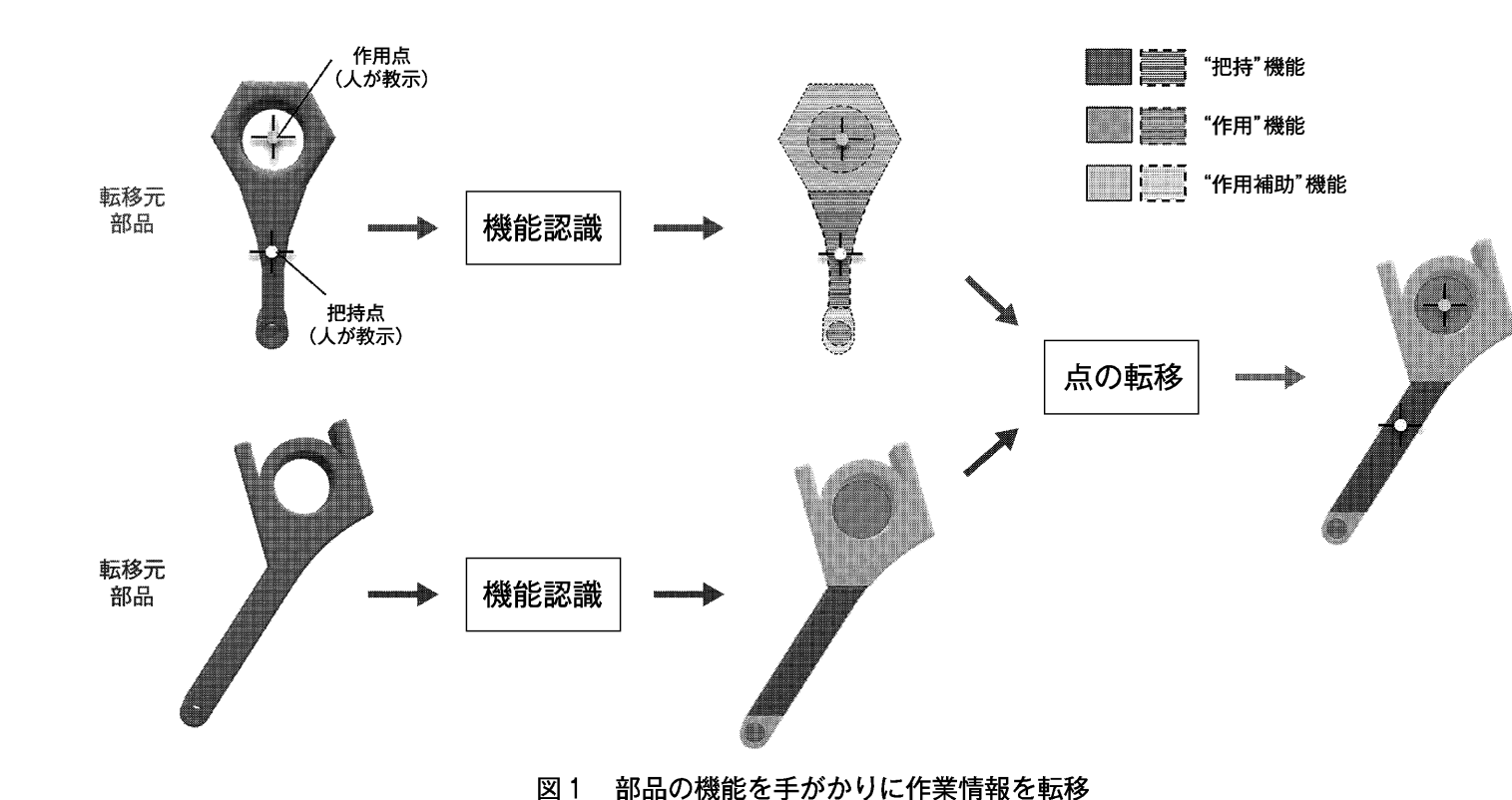


図1 部品の機能を手がかりに作業情報を転移

## プログラミングの負担を軽減

一つ目の技術では、共通した「部品機能」を認識し、例えば、人やロボットの動作は形状が異なる部品を持つという考え方を採用している。つまり、部品の形状が異なっても、部分的に共通した「部品機能」を認識し、例えば、人やロボットの動作は形状が異なる部品を持つという考え方を採用している。つまり、部品の形状が異なっても、部分的に共通した「部品機能」を認識し、例えば、人やロボットの動作は形状が異なる部品を持つという考え方を採用している。

## プログラムの作成を容易に

技術者には言葉で作業内容を指示できても、同じ動作をロボットがするには位置や角度、スピード、順序など膨大な指示と専門知識が必要だった。ロボットを直接動かしながら動作を学ばせる「ダイレクトプログラミング」も普及してきたが、ロボットを教示するためには製造ラインを一度止める必要があり、多品種少量生産が増加する中小企業の生産体制には適さない部分も存在した。こうしたロボットのダイレクトプログラミングに関する課題は、製造現場の自動化の障壁となっており、知識のない人にとっても使いやすく、変更のしやすい教示方法の開発が望まれていた。大規模言語モデル(LLM)をはじめとする生成AI(人工知能)の発展により、ロボットに言葉だけで複雑な動作を指示できるようになる可能性が見えてきた。どのようにしてロボットはモノの機能を認識し、動作をするのか、その方法を紹介する。

中京大学  
工学部 機械システム工学科  
教授 橋本 学

## 人間の簡単な指示文で動きを実行

一つ目の技術は、自まロボットに実行させるプログラムを書かせるので、自然言語の指示文からロボット動作のプログラムを生成する技術である。近年、LLMを用いることで、人が望む処理を自然言語からプログラムとして生成することが可能になってきた。そこで本システムでは、単にLLMにプロ

対して、当研究室では、ロボットへの教示やプログラム作成を簡単にする技術を開発している。一つ目は大規模言語モデル(LLM)を用いて、自然言語の指示文からロボットが実行可能なプログラムを生成する技術である。すなわち、プログラムを書かなくてもロボットを動かせる「技術と位置付けられる。

二つ目は大規模言語モデル(LLM)を用いて、自然言語の指示文からロボットが実行可能なプログラムを生成する技術である。すなわち、プログラムを書かなくてもロボットを動かせる「技術と位置付けられる。

二つ目は大規模言語モデル(LLM)を用いて、自然言語の指示文からロボットが実行可能なプログラムを生成する技術である。すなわち、プログラムを書かなくてもロボットを動かせる「技術と位置付けられる。

込まれる部分、その作用を支える周辺部分などである。本手法では、部品を「把持機能領域」「作用機能領域」「作用補助機能領域」の三つに分けて認識する。把持機能領域はロボットが部品を持つ部分、作用機能領域は組み立て時にほかの部品へ差し込まれる部分、作用補助機能領域は作用機能を構成・補助する周辺部分を指す。これらの領域を深層学習によって認識し、転移元部品と転移先部品の対応関係を求めることで、人が転移元部品に教示した把持点や作用点を、別の未知部品へ移す。

図1では、転移元部品に設定された把持点や作用点が、機能領域象に、ロボット動作生成される。形状の異なる別の部品にでも自動的に動作を減らし、誰でも扱いやすいロボットシステムを実現することが重要な課題になっている。

二つ目は大規模言語モデル(LLM)を用いて、自然言語の指示文からロボットが実行可能なプログラムを生成する技術である。すなわち、プログラムを書かなくてもロボットを動かせる「技術と位置付けられる。

## 自動車生産現場に最適!

# シンクロフィードⅢ

### 進化した高品質ロボット溶接システム

ものづくりの課題を解決する世界最高峰の接合技術

## 第3世代へと進化したシンクロフィード溶接システムが究極の低スパッタを実現!

【軟鋼】プッシュアークプロセス

従来モード プッシュアークプロセス

アーク長を短くする 溶融池を押し広げる

幅広ビードでギャップ裕度向上!

【ハイツ材】

- 板厚: 1.6mm(ギャップ1mm)
- 溶接電流・電圧: 260A・19.0V
- 溶接速度: 100cm/min
- シールドガス: MAG
- ワイヤ: 軟鋼ソリッド 1.2mmφ

### 第3世代シンクロフィードの特長

- メンテナンス性の向上  
トーチ周辺の構造を見直し、作業性と耐久力向上によりメンテナンス工数を75%低減しました。
- ランニングコストの低減<sup>※2</sup>  
小型高効率モータ採用により中継部品(ワイヤパフ)を削減<sup>※2</sup>、消耗品点数が減り、ランニングコストを約25%削減可能。

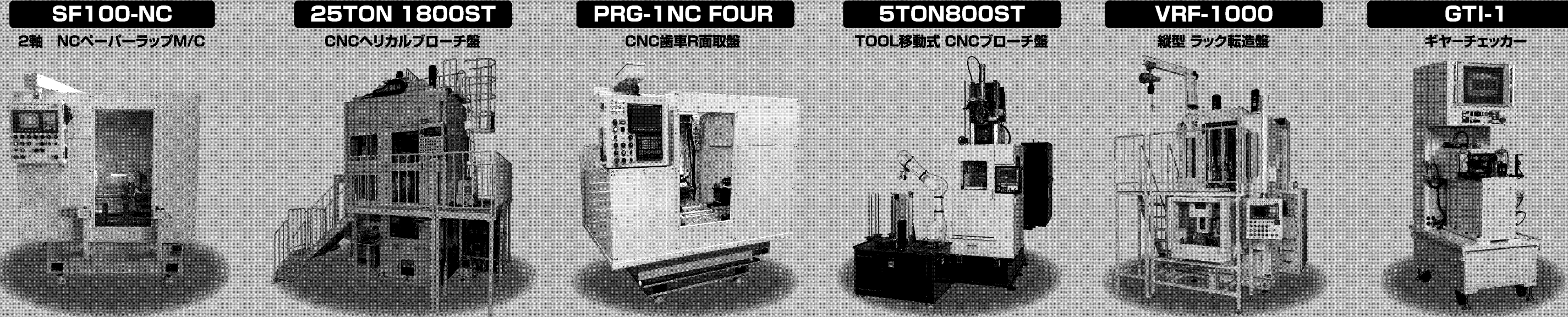
ワンタッチ開閉  
消耗品交換に工具が不要  
塵を排出しやすい構造

ワイヤパフ不要<sup>※2</sup>  
消耗品を7点削減

トーチを外さずにケーブル交換可能

※1. 従来機との比較目安の数値になります。  
※2. リールワイヤ仕様の場合はワイヤパフが必要。 ※3. 従来機との比較概算価格で試算した値です。

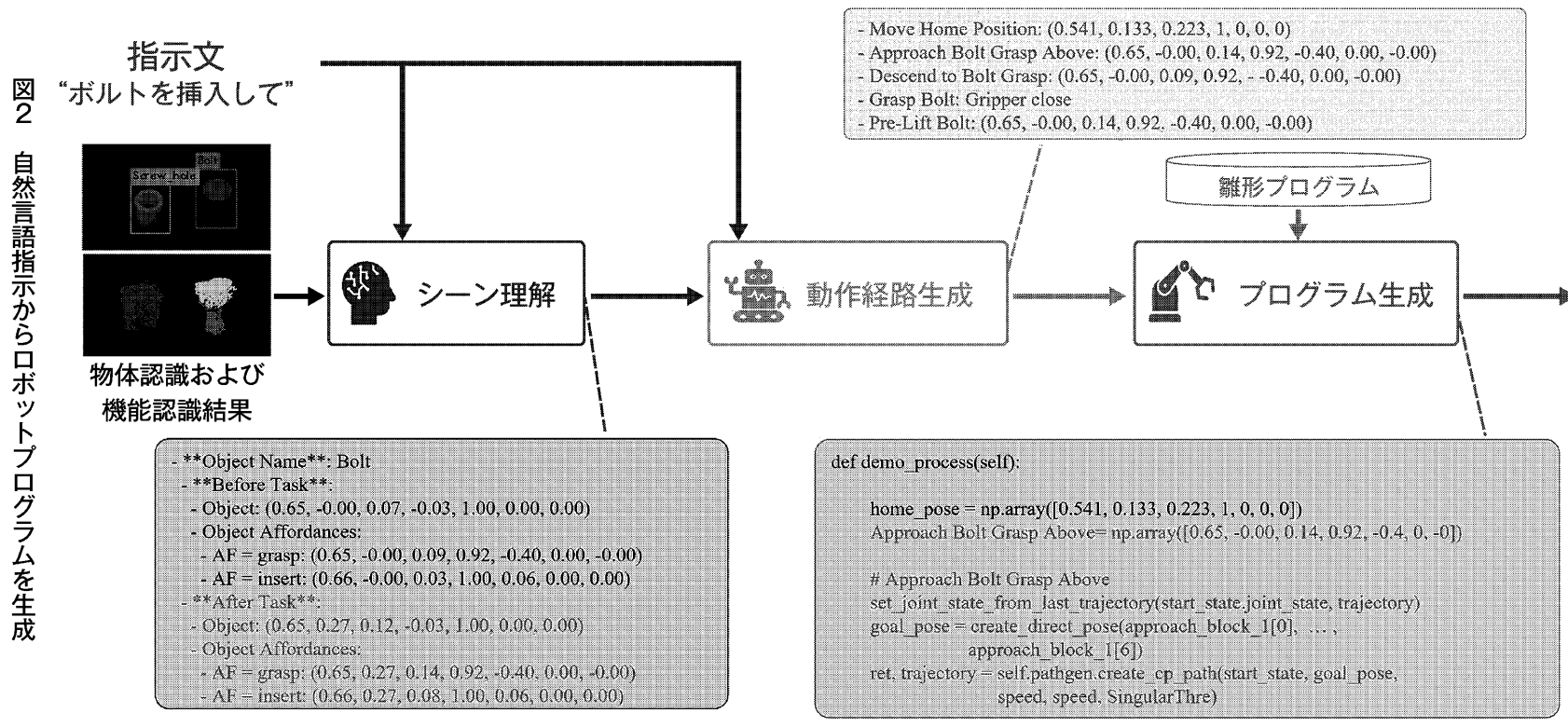
省エネ・高効率・高精度を実現する SANYO



**山陽マシン株式会社** 〒729-0111 広島県福山市今津町大明神112-2  
 ☎(084)934-9305 FAX(084)934-9308 <http://www.sanyomachine.co.jp> E-mail:info@sanyomachine.co.jp

**ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026** 小間番号 E17

# LLMを活用した



はじめに入力とし、どこへ配置するか「ブロックを箱に移動する」といったタスク指示文、物体認識済みのシーン情報、形状のプログラムを生成する。最後に、プログラムと物体の位置・姿勢・3次元情報をもとに、タスク実行後に各物体がどこにあるべきかを推定する。LLMの出力に誤りがあるため、評価用のLLMや3次元情報を用いて結果を確認し、必要に応じて再推定を行う。次に、動作経路生成では、タスク実行前後の物体配置に基づき、ロボットがどこを通り、どの位置で把持

現場で導入しやすい技術へ

近年は、視覚、言語、行動を統合してロボットを制御する「ブレイクダウン」への関心が高まっている。特に、視覚・言語・行動を統合してロボットを制御する「ブレイクダウン」への関心が高まっている。特に、視覚・言語・行動を統合してロボットを制御する「ブレイクダウン」への関心が高まっている。



図4 「機能認識技術」を活用し道具の使い方を認識する「お茶会ロボット」を開発した

現場で導入しやすい技術へ

近年は、視覚、言語、行動を統合してロボットを制御する「ブレイクダウン」への関心が高まっている。特に、視覚・言語・行動を統合してロボットを制御する「ブレイクダウン」への関心が高まっている。特に、視覚・言語・行動を統合してロボットを制御する「ブレイクダウン」への関心が高まっている。

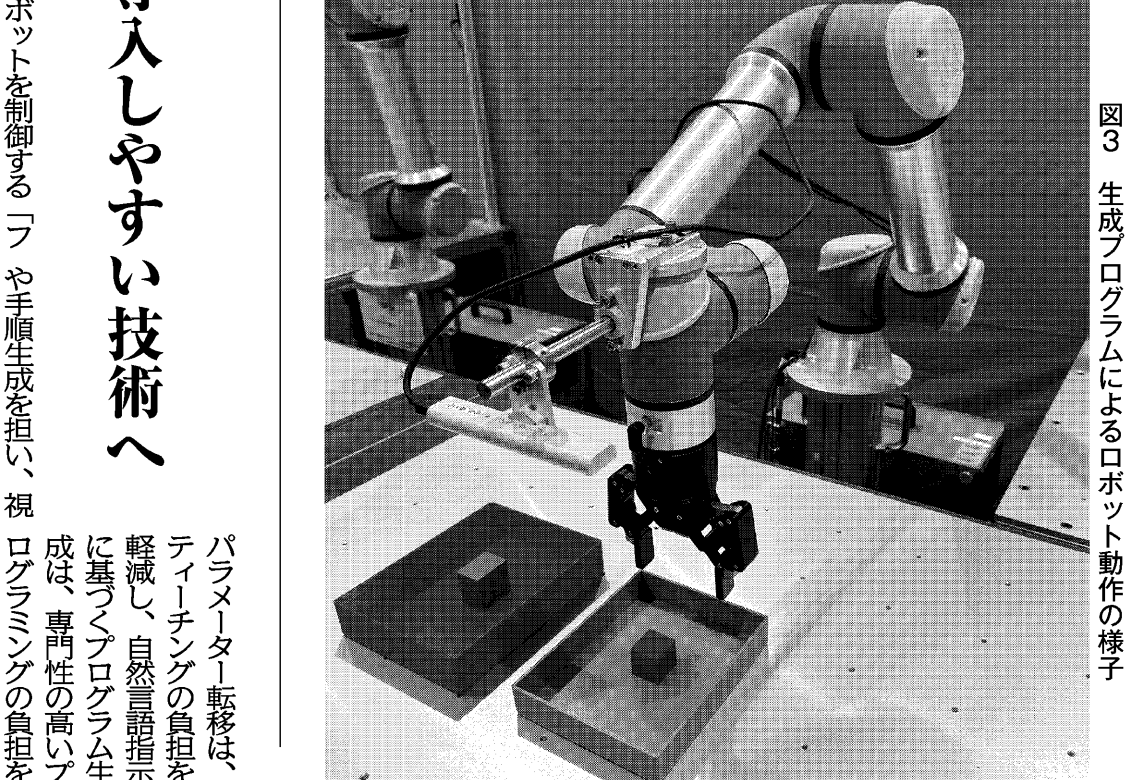


図3 生成プログラムによるロボット動作の様子

## 生産性向上を実現する

ソリューションを用意しています

**ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026** 弊社ブースにて

4つの軸で展示中

- 低コスト
- 自動化パッケージ
- 見える化
- 簡単導入

株式会社 立花エレクトック TACHIBANA ELETECH

東証プライム市場(証券コード:8159)  
 本社/〒550-8555 大阪市西区南本町1-13-25 TEL:06-6539-8800  
 支社/ 東京・中部・九州  
 支店/ 東関東・北関東・神奈川・三河・東海・北陸・三重・滋賀・南大阪・神戸・姫路・広島・四国・九州  
 海外/ 香港・シンガポール・台湾・上海・タイ・マレーシア・インド  
 北京・深圳・大連・青島

## 第1回 中部食品産業創造展'26

PROFESSIONAL FOODSERVICE, INDUSTRY & CREATION

中部地区初開催  
 食品産業の「判断」が、中部に集まる。

会期 **2026 11/4(水)~6(金)**  
 10:00~17:00 (最終日は16:00まで)

会場 **ポートメッセなごや**  
 (名古屋国際展示場)

スマート食品工場 | ロジスティクス・搬送 | 衛生・環境管理 | 食品素材・原材料  
 食品加工・プロセス | 検査・トレーサビリティ | サステナブル製造 | 店舗・フードサービス

Food Tech × Sustainable

中部食品産業創造展事務局(日刊工業新聞社名古屋イベント事業部)  
 〒461-0001 名古屋市東区泉2-21-28 TEL:052-931-6158 締切:6月30日(火)  
 E-mail: chubu-shokuten@nikkan.tech

資料請求はこちら ▶▶▶ **中部食展** 検索

